

茶成林茶番狂言

207
299



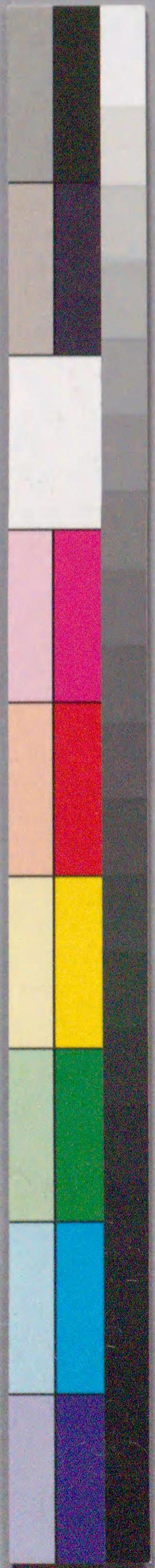
茶成ちやねん林りん茶番ちやばん狂言きやうげん

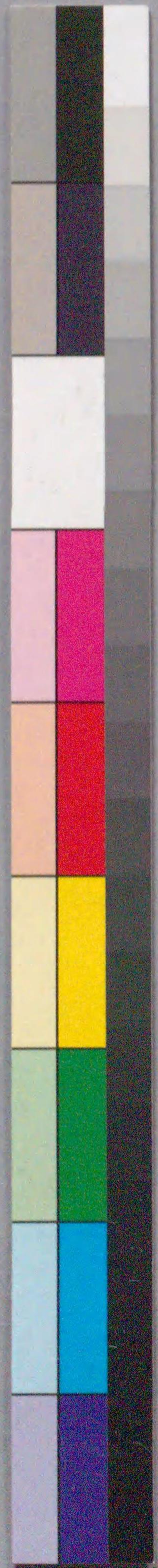
207
299

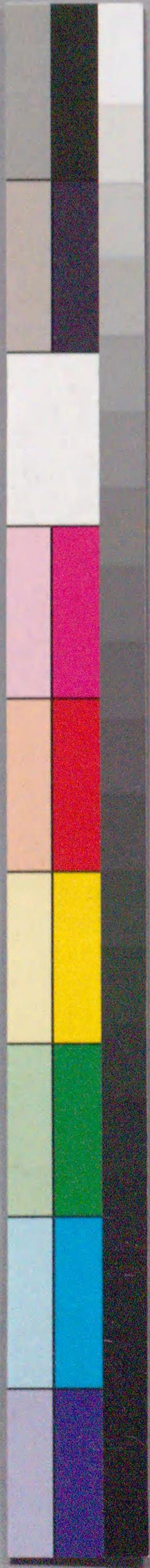
寛文五年

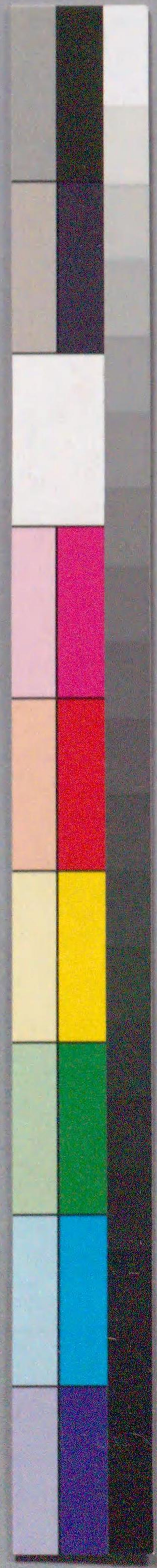
筆の操 聖人の目を怡しむるは 極元の要
と使ひきこむ口上の人形 成片ふ者ハ
丑の月 春
筆の操 聖人の目を怡しむるは 極元の要
と使ひきこむ口上の人形 成片ふ者ハ
丑の月 春

麻杖山人 顔



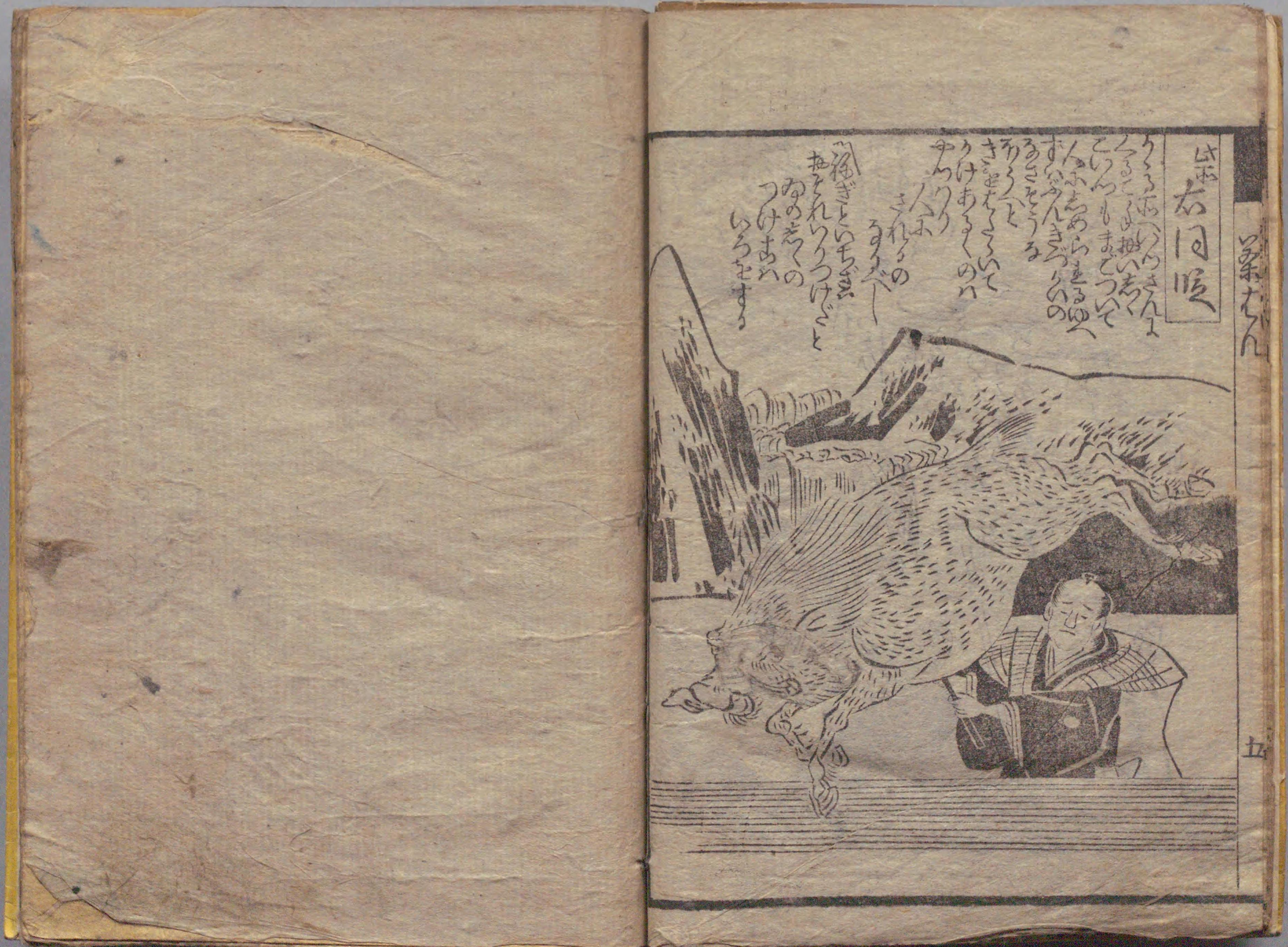
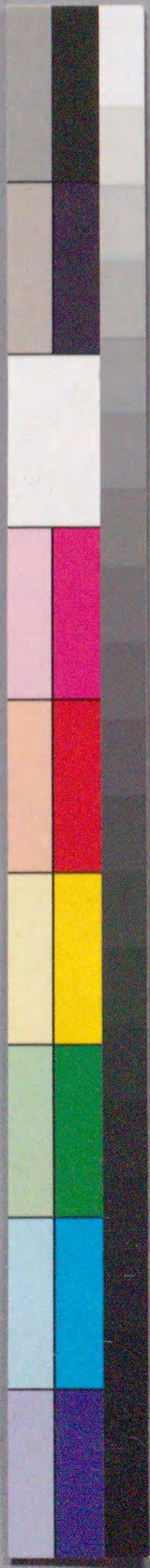


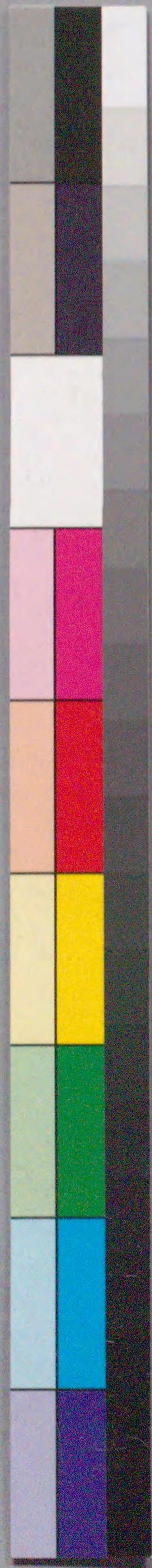






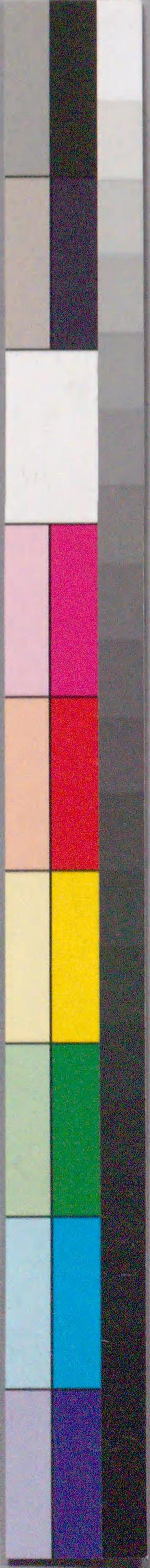
五段目





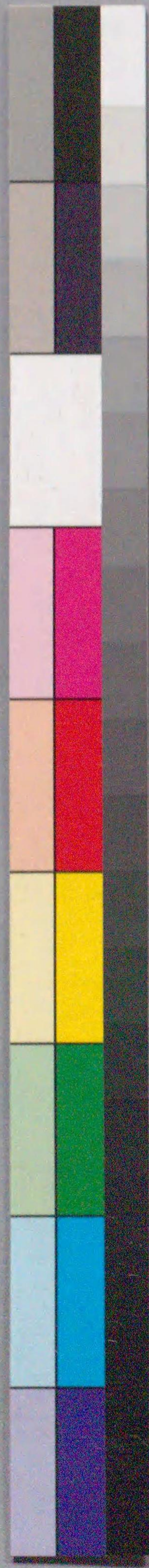


五服目









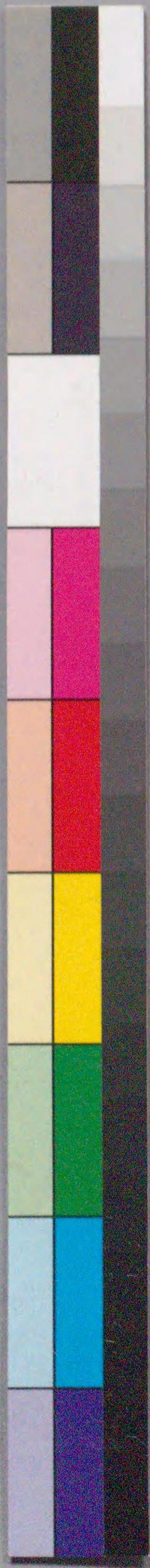
207
299

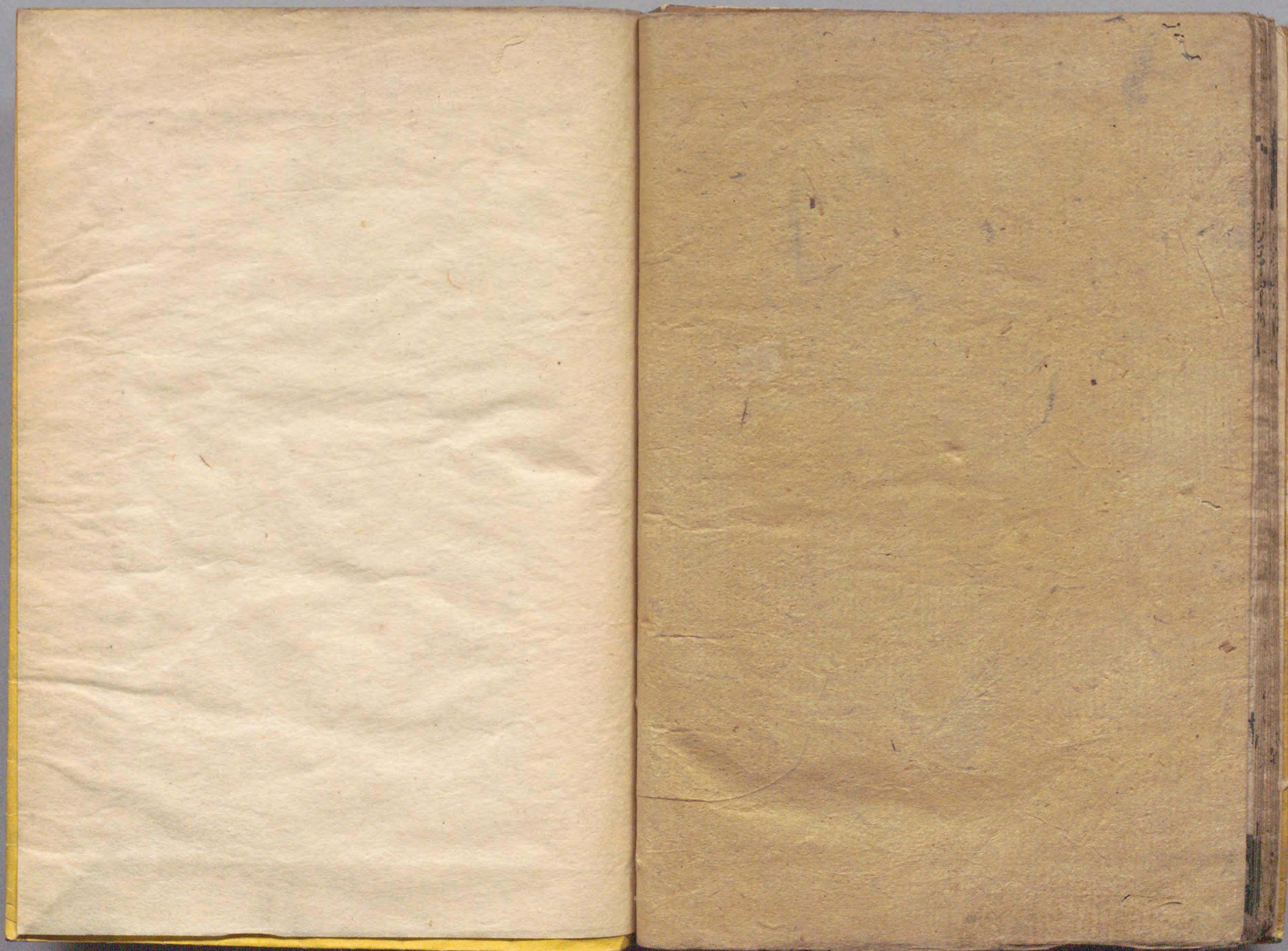
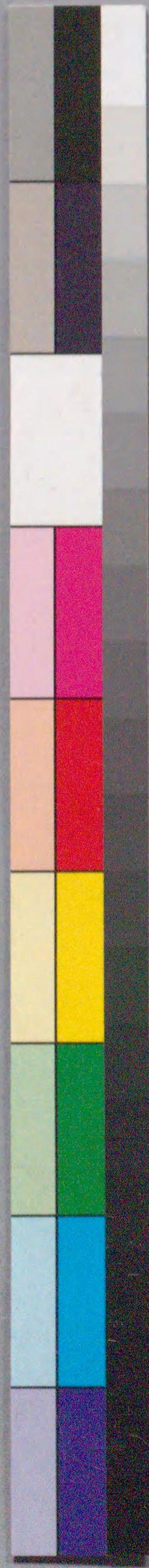
茶成
やうの奴天川や
茶成がせしおや
よのちのちよ
どろくのかる
とろくもち
とろくのひれ
は七人の
家系も
あてじて
はのかたよ
こびた
とろくく
くまらち
でもあるま
くろあ
なるち
は同ふりけま
はあこ
すい
さきでつ
はめふりけ
こまらち
まらちの
ド

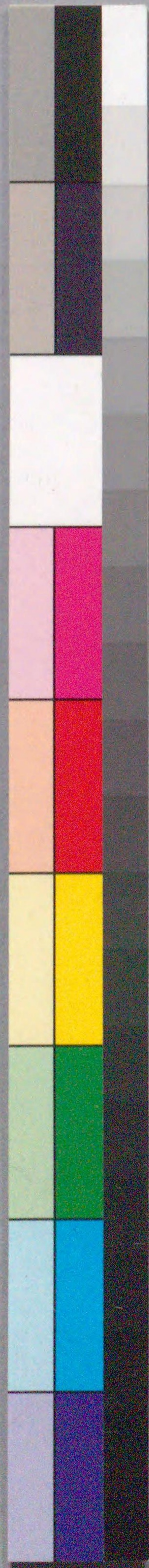


豊國画

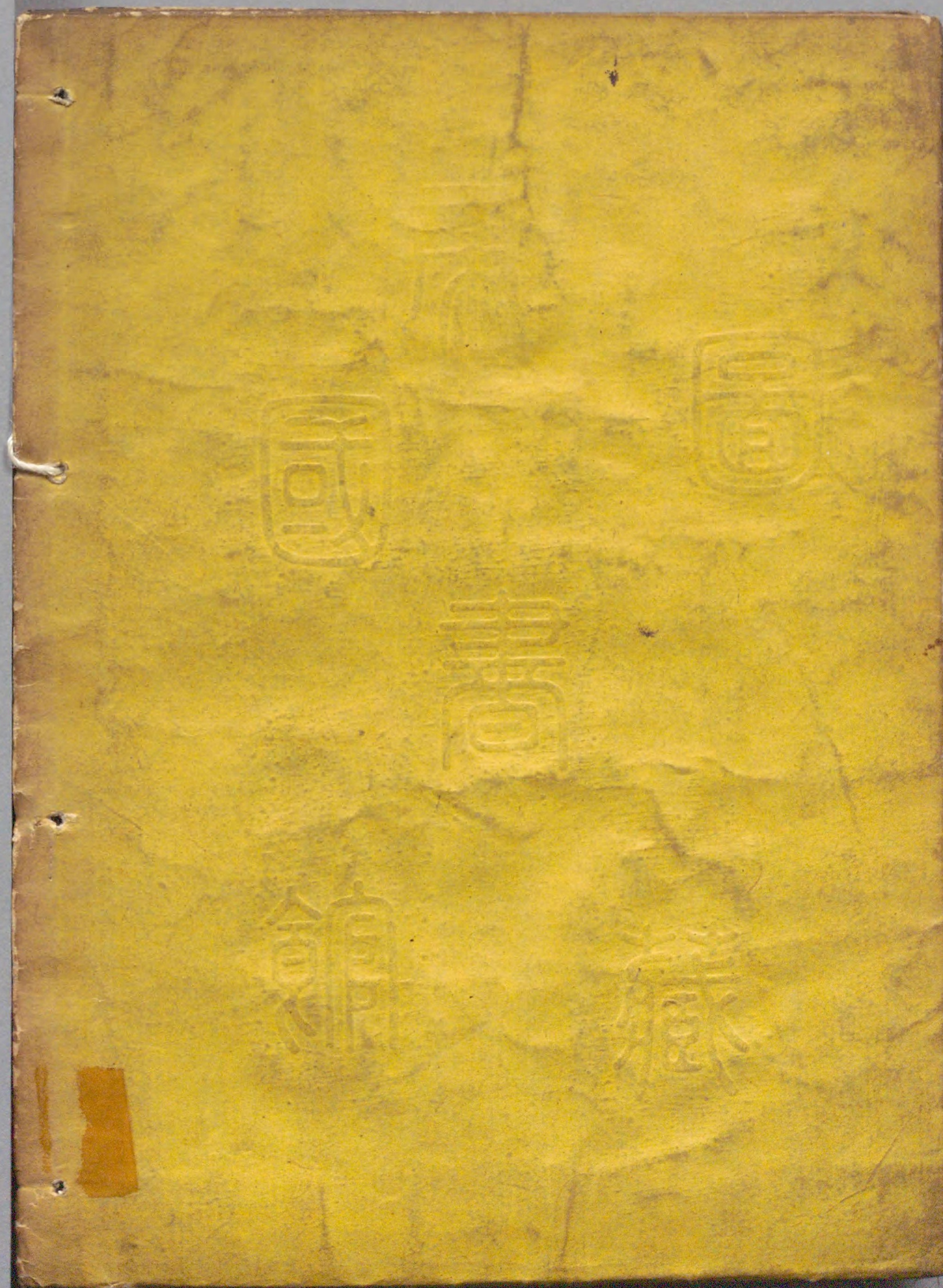








国立国会図書館 茶成[デホン]茶番狂言：2巻 207-299



ガラス使用

